

## 10 Years ETAS Automotive India

# ETAS Automotive India の 10 年

執筆者

**Sameera C Damle**  
ETAS Automotive  
India Pvt. Ltd.

(インド、バンガロール)  
テクニカルセールス・  
エンジニアリング  
ソリューションズ部門長

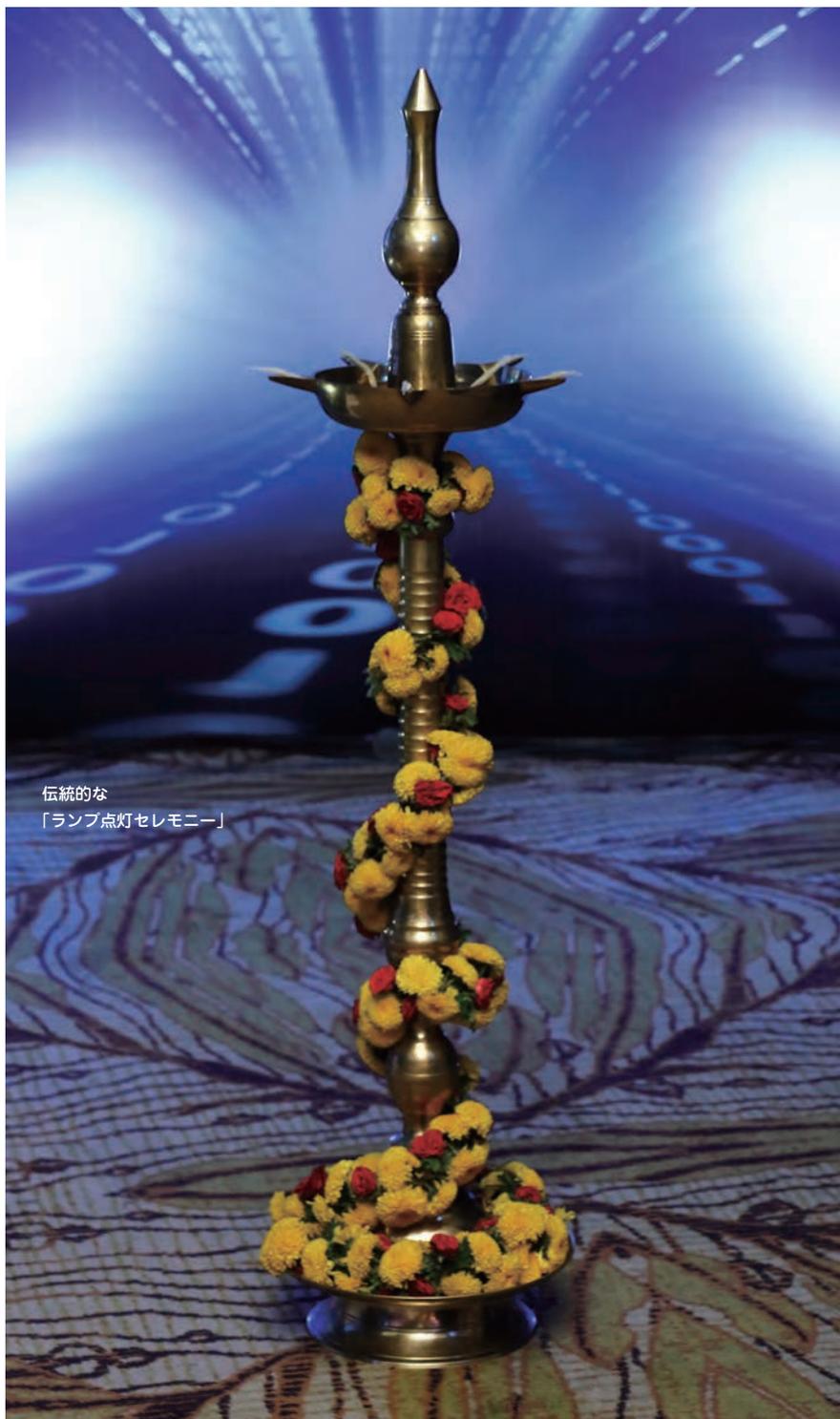
**Rashmi Rao**  
ETAS Automotive  
India Pvt. Ltd.

(インド、バンガロール)  
エンジニアリング  
テストソリューションズ  
マネージャ

ETAS インド法人は、これまでの道のりで最も大切な存在である「お客様」をお迎えして、10 周年の記念式典を挙行了しました。8 月 2 日、50 名のエグゼクティブを来賓者としてバンガロールにお招きし、ETAS のこれまでを振り返り、今後の見通しを発表しました。ETAS からは、経営陣を代表して Friedhelm Pickhard (ETAS GmbH 代表取締役社長)、Wolfgang Siemel (ETAS グループアジアパシフィック統括ヴァイスプレジデント)、Mahavir Patil (ETAS インド法人 統括マネージャ) が列席しました。

式典の幕開けとして、インドの伝統的な「ランプ点灯セレモニー」が執り行われました。それはまさに輝かしい未来に向かう歩みを象徴するものでした。続いて、伝統の継承と技術の発展を表す「デジタルランプ点灯」が LED スクリーンに展開されました。この 10 年間の ETAS の歩みを紹介する簡単なビデオの上映に先立ち、お集まりの皆様には Mahavir Patil から歓迎のご挨拶をさせていただきました。Friedhelm Pickhard からは、自動車用ソフトウェア開発の未来について ETAS が描いている構想をお話しさせていただきました。

お客様との質疑応答のセッションでは、2020 年に導入されるバーラト・ステージ 6 (BS6) という排気ガス規制基準から、インドや他の国々における電動化、さらには組み込みセキュリティの領域に至るまで、幅広いテーマに関して、ETAS の経営陣がさまざまな質問に答えました。今後直面する非常に重要な新興国のメガトレンドについて、ETAS の考えを明確に伝えるために、「テクノロジーシ



伝統的な  
「ランプ点灯セレモニー」

## ETAS インド法人がお客様と一緒に 10 周年を祝いました

2017 年は ETAS インド法人にとって節目の年でした。同社は 2007 年に従業員 3 名で事業を開始しました。最初の仕事は、インドの 2 社のお客様に計測・適合ソリューションを提供することでした。現在は、従業員数が 40 名になり、ETAS のあらゆる製品とサービスを生かしたソリューションを提供しています。インドの OEM 企業（Mahindra、Tata Motors、Force Motors、Bajaj、Hero Honda など）や、世界トップの Tier 1 企業、OEM 企業のインド子会社またはインド事業部（Maruti Suzuki India Limited、Hyundai、Volkswagen、Renault、Nissan、Honda、Continental、Delphi、Denso、John Deere、EATON など）など、インド各地にある 150 社のお客様にご利用いただいています。



質疑応答セッションで回答する経営陣（左から右）：Wolfgang Siemel（ETAS グループ アジアパシフィック統括ヴァイスプレジデント）、Friedhelm Pickhard（ETAS GmbH 代表取締役社長）、Mahavir Patil（ETAS インド法人 統括マネージャ）

アター」が披露されました。その中で、ETAS インド法人の専門家が、「ADAS（先進運転支援システム）」「ビッグデータ」「仮想化」「電動化」「安全&セキュアなソフトウェア」の主要 5 項目における今後の ETAS のソリューションを紹介しました。お客様は将来に対する ETAS のビジョンについて強い関心を示し、またそれらのソリューションについて ETAS の技術専門家と詳細な論議を繰り広げました。

式典の締めくくりとなる晩餐会の前に、参加者の皆様に「ジェンベ」というアフリカの打楽器に触れていただく機会を用意しました。参加した方々は、打楽器奏者のチーム Taal Inc. による手ほどきを受けながら、それぞれが音楽に合わせてドラム演奏を楽しみました。こうして会場全体が笑顔に包まれて、晩餐会の雰囲気を楽ししく盛り上げました。

わずか 10 年で、ETAS インド法人の若いチームは、インドでの優れた組み込み技術（エンベデッドエクセルエンス）の推進に今後も長年にわたって期待されるまでに成長しました。